

地元住民に配慮した、騒音・振動・交通安全に対する工夫

(社)静岡県土木施工管理技士会
株式会社 橋 本 組
土木部 部長： 神 田 道 治
Michiharu Kanda

1. はじめに

近年、焼津市浜当目地区海岸は階段式護岸が整備されているものの、海浜の侵食が著しく、護岸の基礎が露呈している状況にあります。このため、施設の維持や国土保全のために離岸堤の嵩上げや浜当目海岸の養浜を実施していくものです。

- (1) 工 事 名：平成21年度 焼津漁港海岸 漁港海岸保全施設整備（侵食）養浜工事
- (2) 発 注 者：静岡県焼津漁港管理事務所
- (3) 工事場所：焼津市浜当目地先
- (4) 工 期：平成21年12月16日～平成22年 6月30日

工事概要

土取工（海上）	27,350m ³
養浜工	27,350m ³
消波ブロック撤去工	366m ³
仮設道路工	1式

2. 現場における問題点

浜当目海岸養浜工で使用する大型機械の搬入出方法。

消波ブロック撤去に伴うコンクリートがら366m³(約860t)の搬出方法。

国道150号線から浜当目地区を抜け海岸までの道路は道幅も狭く、民家も集中しているうえ、地区の住民が国道150号線へ向かう生活道路となっていることから、交通渋滞を防ぐための対策や騒音・振動による苦情を未然に防ぐための対策が必要であった。

浜当目地区住民に対する騒音・振動防止への配慮と、地区を通行する一般通行車両の安全な交通確保を考慮するためにとった対策を記述する。



道路幅員の減少箇所



国道150号線への出入りは渋滞が予想された



・浜当目海岸通りは地元住民をはじめとし、多くの人達の憩いの場となっている。従って、大型の工事車両を走行させるには十分な配慮と工夫が必要であった。

3．対応策と工夫

浜当目海岸養浜工で使用する大型機械の搬入出方法について

大型重機を運搬するためのトレーラーの通行が困難な場所もあり、また搬入出時の交通渋滞を防ぐため、土取工で使用するガットバージ船を利用して重機の搬入出を行った。



・焼津新港へ大型重機類をトレーラーにて運搬、船舶への積込状況。

焼津新港から浜当目海岸までの約3.0Kmを海上運搬することにより、搬入出時の一時的なものではあるが、浜当目地区周辺道路の交通安定を確保した。



浜当目海岸にて大型重機の荷降し状況

消波ブロック撤去に伴うコンクリートがら366m³(約860t)の搬出方法について

消波ブロック366m³を10tダンプにより浜当目地区を走行して搬出することによる騒音・振動による被害、また大型ダンプが行き交うことによる交通事故・交通渋滞を防止するための対策として、と同様に土取工で使用するガットバージ船を利用して撤去ブロックの海上運搬を行った。



既存ブロック撤去

ブロック小運搬

撤去ブロック船舶積込

撤去ブロック荷降し(焼津新港)

取壊し搬出(焼津新港)



4．おわりに

今回の現場は、コスト削減という面では逆行しているが、浜当目地区住民への配慮、浜当目海岸を利用する人達への配慮、一般通行車両の交通流確保、そして交通事故防止という観点から工夫し実施したものである。

このことにより、地元住民からの苦情も無く、無事故で工事を終えることができた。